

平成30年園の自己評価

認定こども園 愛豊保育園

自己評価（保育の計画・健康及び安全・職員の資質向上と自己評価）の3領域

領域	評価の観点	評価項目	達成状況	今年度の状況
保育の計画	(1) 保育課程の編成	保育所保育指針、幼稚園教育要領に示されたねらい、内容を生活に取り入れた編成	A	こども主体の保育、こどもの視点を常に意識する事を意識するように、社会的責任に子どもの人権人格を尊重した保育の実践を据えた。
	(2) 指導計画の作成と展開	長期・短期計画の作成	A	長期的な計画は年間計画、月次計画によって見通しを持つ。
		生活の連続性・子どもの姿を考慮	A	子どもたちの生活の連続性と姿を考慮した計画の作成・展開を学んでいる。記録することで保育士自身の保育省察の機会となっている。
	(3) 発達過程に応じた保育	未満児の個別計画	B	未満児、特に1歳児の利用が非常に多く、個別計画にそった関わりが維持できづらかった。以上児では、みんなで取り組む課題や活動、異年齢交流を意識した。
		以上児への協同的な活動の促し	A	
	(4) 特別支援保育の対応	指導計画への位置づけ	A	特別支援の必要な児には可能な限り保育士を配置した。個別計画を作成して、身辺自立促進と共に、無理なく集団に入れるように配慮している。保護者や巡回指導、学校、支援センターなどとも重層的に連携を取るよう心がけている。支援内容の底上げ、保育者の質の向上が課題となっている。
		保護者・関係機関との連携	A	
	(5) 関係機関等との連携	関係校区小学校との連携	A	朝日小学校とお互いに訪問、相談を行い、就学前からどのようにしていくか等を話し合い、連携を密にしていけることができた。保護者・地域へは連絡帳や園便り等を行う。
		保護者・地域との連携	B	
	健康及び安全	(1) 子どもの健康支援	健康状態等の把握と疾病等への対応	A
(2) 環境及び衛生管理・安全管理		設備・用具などの衛生管理	B	寒暖や湿度等を考慮し、また毎日の美化清掃を実施して快適な保育環境を提供した。毎月安全点検と避難訓練を実施して安心で安全な園環境を心がけた。
		安全点検・避難訓練等の実施	B	
(3) 食育の推進		食育計画の作成と実践	A	昨年度より継続して園全体、年齢別に食育計画を作成して計画的に意識化、実践できるようにした。実践回数は大きく増えた。アレルギー対応は保護者と連携を取りながら可能な限り個別対応を行っているが、必要とする園児が年々増え、対応に苦慮している。
	アレルギーなどへの対応	B		
資職質員の上	(1) 施設長の責務	法令順守・職員指導・研修への促し	B	法令については消防関係、福祉関係、学校関係、保健関係の各遵守を心がけた。毎日の朝礼や各会議などで適宜必要と思われる指導を心がけ、法人主催の階層別研修や自主参加の保育研修等を織り交ぜて研修機会の確保に努めた。
	(2) 自己研鑽	研修等への積極的な参加	A	自主的に研修を選び参加できる環境にしている。職員は積極的に研修に参加しており、よい環境だと思う。
	(3) 目標管理	一年間の目標設定と振り返り	B	チーム目標、個人目標、自己啓発目標を掲げてその達成度をみるために年度末に面接と振り返りを行う。

達成状況 A 優 B 良 C 可 D 不可

以上のように報告いたします。

平成30年3月1日

園長 信田 隆司 印

